



第 1202 回例会報告

平成 22 年 12 月 2 日(木) 晴れ

会長挨拶

会長 長崎政直

三澤敏郎さん

三澤敏郎さんがお亡くなりになりました。無理かなーと思いつつも、回復されて復帰されることにわずかの希望を持っていたのですが、残念です。

皆さんにも、様々な思い出があるかと思いますが。三澤さんは、おかしな人だったなーとつくづく思います。最初にお話をしたのは、4年前、夜間例会で、三澤さんの方から寄ってきてくれて、「助役やってたんだって！それなら多少は、しっかりもんだ・・諏訪へ帰ってきて、知り合いも少ないから・・宜しく頼みます。」というようなご挨拶で、私も恐縮して、「こちらこそよろしくお願ひします」というような会話でした。

その時は、それほどとは思わなかったのですが、無類の酒好きで、いつもお酒を飲んでおられました。2年前の公魚釣りの例会でも、台船に移り、釣り糸を垂らすや否や飲み始め、公魚は一匹も釣れないのです。終わりになる頃、グズグズになった三澤さんの釣り糸に、やっと一匹がかかり、みんなで拍手して、その日の釣りが終了しました。

親睦旅行でも、ひたすらお酒を飲み続けていました。ロータリーへ入会したのは、お酒を飲むためと思わせるほどでした。カラオケを始めると、とても上手とは思えませんでしたでしたが、マイクを離しませんでした。そして、決まって、奥様が冷たいと嘆くのです。三澤さんの話では、トルストイやソクラテスの妻かと思わせたのですが、葬儀の日、奥様にお会いしてみるとそんなことはありませんでした。3月以来、献身的に付き添われ、眠ったままの三澤さんのベッドのかたわらで、三澤さんのおでこを指でパッチンと小突いて、早く目を覚ませと看病したのに・・逝ってしまったと・・涙ぐまれました。三澤さんを愛していたこと、三澤さんが愛されていたことが窺われました。

朝から寝るまで、仕事をしない時は、ひたすら飲み続けるのですから、それもコンビニエンスの一合の紙パック酒です。私の店の美味しい酒を少し飲むよう勧めたのですが聞き入れませんでした。奥様にしたら、小言の一つや二つ、まして酒を飲んでいるときに遭遇したら、

必ず、小言を言って当たり前だと思います。古女房とは、そういうもんだと説得するのですが、三澤さんはこれも聞き入れません。親睦旅行のおり、聖仁和尚にはご迷惑であったろうけれど、同室に泊まっていたが、一晩お説教をしていただきましたが、どうもあまり効果はなかったように思います。

それから、これは、三澤さんのお兄さんも知っている酔ったときの話で、新潟に善い娘がいて、俺の面倒を見てくれるはずだと言っていました。そこで、携帯電話からその人に電話をさせました。その時、その人には軽くあしらわれた感じでした。それでも、話は盛り上がり、一度、みんなで、その娘に会いに行くツアーを組むという話になりました。それも果たされぬまま、逝ってしまいました。それで良かったと思っています。

しかし、ロータリーでは、例会の卓話を頼まれると、嫌な顔もせず、進んでやってくれました。随分助けられた委員長さんがいるように思います。そんな顔が、ロータリーでの三澤さんでした。

葬儀に参列して、三澤さんの他の顔が、随分見えました。学業を終え、法務官に奉職し、極めて稀なケースだそうですが、法務官を勤めながら苦学し検事資格を取得、検事として正義を貫く事に終始したという事でした。この間の心労は、相当なもので、それを酒に紛らわせ、それが親子の対立や夫婦の対立を生み出したようですが、それも乗り越え、検事の職を全うされました。息子さんも、なんとという親父だと思ったこともあったが、決して嫌いではなかったと、また、尊敬していると話されました。

三澤さんは、天職を得て、世のため、人のため、更

■ニコニコ BOX

21名	23,000円
累計	615,000円
目標額	130万円
達成率	47.3%

■出席報告

会員数	35名
出席対象	35名
出席者数	24名
出席率	68.5%
前回修正	85.7%

■今週のことば

有賀隼人さん本日の卓話、
よろしくお願ひします。

小口洋太郎

■次回のプログラム

12月16日
年次総会
セブ島訪問報告



に、家族のために、身を粉にして頑張って生きてきて、人生やり尽くしたという自負があったのだと思います。残りの人生、自分の好きなように過したい、大酒飲んだっていいじゃないかという思いが強かったのでしょう。

そんな中で、三澤さんにとって、一番の楽しみで、退職後の自己の社会的存在を感じれるのが、ボートだったのだと思います。だからロータリーの行事より、ボートを優先させていました。ボートの大会へ出かけるときは、大変、嬉しそうでした。

三澤さんは、おかしな、おもしろい方だったという私の印象・思い出です。

原君のお父さん共々、ご冥福をお祈りします。

◇幹事報告◇

- 以下の文書を受領いたしました。
 - ①ウィークリー(諏訪 RC・大津中央 RC)を受領しました。
 - ②ロータリーの友12月号を配布致しました。
- 連絡事項
 - ①11/26 当会元会員三澤敏郎氏の葬儀が執り行われ、多くの会員に列席して頂いたことにお礼の言付がありました。
 - ②原会員の御尊父様の葬儀が本日(12/2)執り行われます。役員の方の初七日法要までのご参加をお願いします。
 - ③11月29日諏訪グループの会長幹事会が開催され、3月6日開催の会員セミナー・IM ホスト岡谷エコーRCより新会員のためになる企画を行っている趣旨の説明がありました。楽しみにお待ちしております。
 - ④地区協議会の日程が4月10日(日)松本大学ホスト松本空港 RC に決定致しました。関係者は調整をお願いします。
 - ⑤総会資料として細則案を配布致しました。役員人事案の配布は総会時となります。

第1202回例会 担当 新世代活動委員会

第2 この街学園の活動について

障害を持った人たちが働く(知的障害者通所授産施設)社会福祉法人「第2この街学園」の有賀隼人さんをお迎えし、「この街学園」の歴史や現状、施設や活動内容のお話を聞きました。お話いただいたなかの施設で行っている仕事について報告します。

特に最後のマイ箸については、当日も多くの方に購入いただきましたが、ぜひ注目していただきたいと思います。



★精密作業

地域の企業より、精密部品の箱詰め作業などのお仕事を頂いています。

★アルミ缶リサイクル作業

アルミ缶回収は大切な仕事です。地域の方々や公共施設にご協力いただきリサイクル作業を行っています。敷地内にアルミ缶ボックスがありますので、お持込みいただける方はいつでもお気軽にお持ち下さい。また、持込みが難しい場合はこちらから回収にも伺っております。どうぞお気軽にご連絡下さい。

★タオル洗濯委託作業

下諏訪町社会福祉協議会との連携の下に、タオル洗濯作業の委託を受けています。社協が管理する公共施設をお借りして、洗濯・干す・たたむ・掃除などの作業を行っていますが、外部での作業という事もあり、良い意識作りにつながっています。

★ポスティング作業

地元の宅配サービス業者からポスティング作業の委託を受け、主に下諏訪エリアと岡谷エリアの一部を行っています。

★マイ箸梱包作業

セイコーエプソン労働組合との連携の下に、マイ箸の梱包・販売を行っています。箸は木曾ヒノキの漆塗りを使用し、布袋はカンボジアシルクと和柄日本布の2種があります。カンボジア製は、現地の女性の自立の手助けとなり、日本製はひきこもりくんなどの日本の青年の自立の手助けになっています。そして袋詰め作業が「この街学園」の大切な作業と収入になります。

マイ箸には次のように記載されています

あなたが贈った笑顔で、あなた自身も幸せな笑顔になります。そんな素敵なお箸、いかがですか？

この箸はあなたが買うことで、使うことでたくさんの笑顔を贈ることができます。

カンボジアの女性、日本の青年、障害を持つ人達の三者の役に立ち、環境に優しい、この事業にぜひ皆様のご協力をお願いいたします。

